



新「鹿屋市」誕生

NEW KANOYA CITY

新市誕生のごあいさつ

鹿屋市長職務執行者

有留忠男



(旧輝北町長)

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに
お迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
1月1日、鹿屋市、吾平町、輝北町、串良
町の1市3町が合併し、人口106,000
人の新「鹿屋市」が誕生いたしました。この
歴史的な合併の実現に至るまでにご尽力いた
だきました関係各位に対し深く感謝すると
ともに、温かいご理解を賜りました市民の皆様
に心から厚くお礼申し上げます。

新「鹿屋市」には、緑豊かな高隈山系や日
本の星空、全国一の産出額を誇る豚や肉用
牛などの畜産をはじめとする第一次産業、日
本一を目指すかのやばら園、県下の神代三山
陵の一つとして名高い吾平山上陵、鹿屋体育
大学や県民健康プラザなどの健康・スポーツ
関連施設や大隅少年自然の家など、他に類の
ないすばらしい自然や財産があります。
それぞれの地域でこれまで培われてきたこ
れらの豊かな財産を共有し、十分に生かしな
がら、厳しい社会経済情勢の中、あらゆる分

野において大隅の発展をリードする拠点都市
として、未来へ大きく飛躍する夢のあるまち
づくりを進めていくことが、新「鹿屋市」に
課せられた使命であります。

特に、県内で初めて設置された「地域自治
区」は、地域の歴史や文化を引き継ぎ、住民
の声に答え、地域の均衡ある発展に大きく寄
与するものになると考えております。

また、真の合併は、市民が一体感を実感し
て初めて成し得るものであり、市民一人ひと
りがまちづくり積極的に参画し、行政が
市民の負託と期待に真摯にこたえていくことで、
新「鹿屋市」の将来像として掲げる「人と自
然、地域の恵みが響きあう健康交流都市」を
実現できると確信しております。

市民の皆様のご健康を心から祈念い
たしますとともに、新たなスタートを切った
新「鹿屋市」の発展のため、さらなるご支援・
ご協力をお願い申し上げます。



前鹿屋市議会議員の西園議員の音頭で参加者全員が万歳を三唱。



オープニングセレモニーを飾った東京保育園児の和太鼓演奏。



1,000個の風船を飛ばしました。



新「鹿屋市」への期待を込めて祝辞を述べる伊藤鹿兒島県知事。

平成18年1月1日、鹿屋市、吾平町、輝北町、串良町の1市3町が合併し、新「鹿屋市」が誕生しました。これから、新市としての一体性の速やかな確立と市民福祉の向上、地域の均衡ある発展を図りながら、新「鹿屋市」の将来像『人と自然、地域の恵みが響きあう健康交流都市』の実現を目指して、新たなまちづくりが始まります。

新市が誕生した1月1日は、市役所本庁で市長職務執行者の有留忠男・旧輝北町長による新市発足に伴う事務手続きや辞令交付などが行われました。

そして、仕事始めとなる1月4日には、市役所本庁や吾平・輝北・串良の各総合支所で開庁式を実施。本庁に先立って行われた吾平・輝北・串良の各総合支所の開庁式では、

は銘板の除幕などが行われ、それぞれの地域で新「鹿屋市」の門出を祝いました。
また、本庁で行われた開庁式には市民や関係者など約250人が参加。式では、有留市長職務執行者が「それぞれの地域で培ってきた財産や資源を十分に生かしながら、大隅の発展をリードする拠点都市として、新『鹿屋市』の将来像である『人と自然、地域の恵みが響きあう健康交流都市』の実現に向け、今後市民の皆様のご支援・ご協力をいただきたい」とあいさつ。来賓の伊藤鹿兒島県知事も「新『鹿屋市』は、農業基盤が整っており、日本の中心として世界と渡り合えるだけの資源をもっている。今後も、次の時代に向けた新しいまちづくりを進め、新『鹿屋市』を中心とした大隅半島が更に発展していったほしい」と祝辞を述べました。
続いて、小学生の代表や合併協議にかかわった旧市町の前首長と前議会議長らによるテープカットやくす玉割りが行われ、最後に参加者全員で風船を飛ばし、万歳を三唱して新「鹿屋市」誕生と開庁を祝いました。